

## 武庫川と宝塚北部（西谷）地域の保全・利活用について

田村博美・中義昭(武庫川がっこう・西谷交流促進実行委員会)

### はじめに

宝塚市北部に位置する西谷地域は約 6000ha を擁し宝塚市域面積の約 10%を占めます。しかし、人口は約 2700 人と市人口の 1%強です。時代により多少の変動はありますが、数千人の住民が広大な地域を守り維持して今日の田園や里山環境に至っています。阪神間南部市街地から至近距離にあり短時間でアクセスしやすいこの地域を如何に活用するかが課題です。

武庫川と宝塚南部地域からこの西谷地域の位置づけと今後の保全・利活用について考え、私たちができる活動について報告し提案したいと思います。

### 西谷地域の歴史・文化・自然

西谷地域は 10 世紀(平安時代)後半に源満仲が開発した多田荘に含まれ、現在の川西、猪名川、宝塚北部(西谷)と一部三田の盆地で構成されていました。東から順に東谷、中谷、西谷と呼ばれ明治 22 年に西谷村が生まれました。この一帯は猪名川の銀山地区を中心とした多田銀銅山を構成し、その時々政権にとって重要でした。間歩とよばれる坑道は 2000 ヶ所以上といわれ西谷にも千本間歩などの坑道があり昭和に至るまで活動していました。

また波豆石という流紋岩が産出し中世の石造美術を多く産出し県下に広く波及しました。

地域は標高 200m前後で低い山々で囲まれた細長い盆地を形成し、南部より大きな寒暖差を利用し特色ある農産物を生産しています。

### 武庫川との関係

西谷には武庫川の支流、羽束川と波豆川、川下川が流れています。とくに波豆川と川下川とその支流が西谷地域を流れます。西谷地域は武庫川の流域面積約 500km<sup>2</sup>の約 10%を占めます。単純に考えると西谷の森や里山、田園が荒廃すると森林や里山、田園の保水力が低減し、武庫川の洪水リスクが 10%近く高まるという結果につながります。

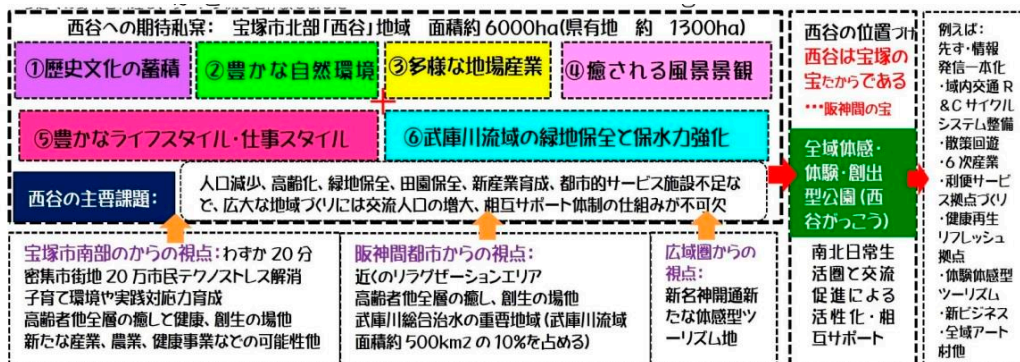
武庫川の洪水流量予測は現在の土地利用がそのまま継続するとの想定にたつて算定されています。西谷地域の保全と有効な利活用について西谷地域だけでなく宝塚市全体で、さらに武庫川流域圏で考え実行することが重要であると考えます。

### 宝塚市及び周辺都市との関係

宝塚市の人口は約 23 万人ですが西谷はその 1%強 2700 人です。さらに高齢少子化の影響も大きく年々人口が減少傾向にあります。約 6000ha の地域を 2700 人で維持することは不可能です。また西谷地域から至近距離にある隣接都市を含めると 100 万人以上の人口がいます。都市密集市街地に住む住民の健康維持・増進、生き甲斐・やり甲斐増進、ストレス発散、子育て教育、環境教育など様々な分野で西谷地域を利活用していく必要があると考えます。

利活用しながら西谷を知り、西谷のサポーターになって頂きたいと考えています。

表-西谷の位置づけと期待される役割



### 西谷交流促進実行委員会と活動

「西谷地域」については宝塚南部の約 23 万市民の大半がその存在を認知していません。地域を通行したことのある人々も通過点としてしか意識せず、西谷が備えた多くの特色や利点についても理解していない人がほとんどです。

そこでより多くの市民に西谷を知ってもらう活動を始めました。

①平成 27 年度：先ず、西谷地域を対象としたスケッチを公募し、宝塚の南北で展示会と市民投票会を開催しました。82 点のスケッチが集まり、市民投票により約 800 名が投票し上位 24 点を入選作品としました。同時に西谷の地域概要と見所、魅力などを解説し、併せて入選作品の紹介を兼ねた「美しい西谷の村里をあるく……宝塚の桃源郷 西谷」を作成し発行しました。同時に「西谷フォーラム」を開催し冊子やガイドマップの配布と PR を行いました。

入選作品展示会とフォーラムには約 300 名が来場しました。

併せて「西谷のガイドマップ」を作成し無償配布しました。

②平成 28 年度：西谷交流促進実行委員会を設立し西谷での交流活動を実施しました。宝塚市きずなづくり推進補助金事業の採択を受け、年間 5 回の体験型交流会を行いました。

表一宝塚の桃源郷・西谷の魅力を感じ・体験しよう H28 年度年間活動実施表

実施日時	活動テーマ	集合場所	散策回遊	体験活動	参加人数
第 1 回 7/30(土)	西谷の自然を探し食べてみよう	西谷の森公園 西の谷	西谷の森公園展望台まで往復。大堂に移動。	野草・薬草探し。野草料理体験。竹を切ってソーメン流し、ミニ盆栽づくりなど。	35 名
第 2 回 9/24(土)	西谷でダリアとジャズ演奏	上佐曾利会館	上佐曾利ダリア園及び香合新田散策。万正寺。	ダリア栽培の歴史、観賞、香合新田体験。寺でジャズ演奏観賞。	30 名
第 3 回 10/23(日)	西谷の秋を満喫	西谷ふれあい夢プラザ	夢プラザからごろく山里往復。大堂に移動。	秋の里山、田園風景をスケッチ。渋柿採りと干し柿づくり体験。黒枝豆採取体験。	50 名
第 4 回 12/11(日)	西谷の冬と野鳥観察	波豆八幡神社	波豆八幡神社から千苺水源池。大堂に移動。	波豆八幡神社や普明寺の歴史を知る。水源池の野鳥観察。里山清掃とたき火と焼き芋体験。	32 名
第 5 回 1/22(日)	西谷をもっと知りたい体感したい交流会	宝塚自然の家	宝塚自然の家から猪ノ倉山登山。自休村センター。	猪ノ倉山から千苺水源池と山々眺望。センターで西谷住民と西谷について意見交換会。	25 名
合計参加者数					172 名

活動テーマは表のように西谷の四季と里山の暮らしや自然環境、風景などを体感することを主眼としました。このような活動がリピーターを生み、西谷を守り維持管理するサポーターとして育っていくことを期待しています。

同時に地域住民との交流促進を円滑にしていくため「西谷をたのしむためのまもりごと」というルール冊子を作成しています。

これらの活動は地元西谷の人々にも理解され、西谷の人々の活動と一体となり、今後ますます充実したまちおこし活動につながることを期待されています。武庫川流域の西谷の環境が守られその結果として武庫川の安全性維持につながることを願っています。

